

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
6月7日発行 NO.7
文責 出崎 友英

今日もどこかで…

6月は市教委が定める「心のきずなを深める月間」です。徳島県の中学2年生、米澤拓也さんの書いた作文「今日もどこかで…」を紹介します。(紙面の都合で一部を省略しました。)

今日も、教室でいじめられている人がいる。その人は、いつも教室の片隅で好きな本を読んで、周りの人の声を聞かないようにしている。誰かに悩みを打ち明けることもなく、誰から励まされることもなく、心を閉ざし、重くつらい一日が早く過ぎ去ることを願いながら、本を読んでいる。

その人は、小学4年生の時の僕です。いじめはとても卑劣で、卑怯なことです。今考えても、なぜいじめられたのか全く分かりません。その当時から、「もしかすると自分がその子たちに何かをしてしまったから、嫌なことをされるのだろうか。僕自身にダメなところがあるからしょうがないのだろうか。」と考えたこともありました。道徳の授業やその時の先生の言葉を考えているうちに、いじめは理由があるから起こるのでなく、する人がいるから起こるのだと思うようになってきました。つまり、何も悪いことをしていない人に対しても、容赦なく降りかかってきます。その人の生まれもった身体や名前のことについて様々な悪口を言われたり、勝手な理由で暴力を振るわれたりする最悪の行為です。なぜいじめたのか…。そんなことは理解できないし、考えたくありません。

いじめは、同世代の集団の中で起こります。子どもの集団の中で起こっていることは、大人の人たちは気づきません。そして、いじめられている人は、いじめられていることを、親や先生など大人には言いません。いや、言えません。いじめられていることを言ったら、いじめている人は叱られるが、その後、より一層いじめがひどくなるのではないかと恐れるからです。ア

しかしその時僕は、思い切って先生に相談をしてみることにしました。僕の担任だった先生は、とても正義感の強い人で、話を最後まで聞いてくれ、重く受け止めてくれる人だったからです。先生に話した時、先生はとても驚いた様子で、「気づかなくてすまなかった。」と言いました。無理もありません。いじめの内容は、自分の持ち物を隠されたり、変な内容の手紙が机の中に入れられたりするというものだったのです。幸いなことに、それ以降僕に対するいじめは無くなりました。しかし、今日もどこかで、誰かがいじめにあっているのではないかという不安が頭をよぎります。(中略)

僕は、先生に打ち明けた時に、自分の気持ちを聞いてくれたことが、本当にうれしかったです。そして、もういじめが無くなると思うと、心の底から安心したことを今でも覚えています。

だからこそ、今僕は、つらい気持ちを抱えている人に声をかけ、助けになりたいと思っています。人と接することで、気持ちがやわらぐといいと考えています。

いじめは、同世代の集団の中で起こります。だから、いじめが起こった時、一番早く気づき、一番力になれるのが、同じクラスの人であり、同じ学年の人だと思います。ほんの少し、クラスや学年の人たちが勇気を出すことで、いじめは無くなると思います。僕はそんな勇気のある人間になりたいです。

人の心を深く傷つけ、時には取り返しのつかない道を選ばせてしまう、そんな卑劣な行為を許さない仲間でありたい。

第29回全国中学生人権作文コンテスト文部科学大臣奨励賞

いじめは、絶対に許されないことです。

いじめをなくすために、私たちが心すべきことはどんなことでしょうか？私たちが行動すべきことは、どんなことでしょうか？

米澤さんの作文の中にも、その答えがあります。

「錦タイム」がありました。

6月6日(木)、帰りの会の時間に「錦タイム」を行いました。これは、生徒のコミュニケーション能力を高めることやよりよい人間関係づくりをめざした取り組みです。各クラスで3、4人のグループになって「春夏秋冬どの季節が好き？」などのお題についてそれぞれが自由に話して、ほかの生徒は相手の目を見て笑顔でうなずきながら聞くという活動に取り組みました。身振り手振りを交えて会話をしている生徒たちの様子はとても楽しそうでした。



◆お知らせ・お願いです。

○6月2日(日)に健軍神社参道にある花壇の花植え活動に生徒会執行部の皆さんが参加しました。毎年6月と12月に行われる恒例の活動です。今回は80株ほどの花の苗を植えてきました。このような活動を通して、生徒たちが地域社会とのつながりを感じてくれることを願っています。



○今年度も「放課後自習教室」を毎週月曜日と水曜日の放課後、被服室を会場に開催します。講師の先生は昨年と同じく、二人の元校長先生です。自宅でひとりだとなかなか勉強する気持ちにならないという人もいます。学習習慣を身につけるため、参加してみませんか？多くの生徒の皆さんの参加を待っています。詳しくは右のQRコードから確認してください。



努力している人は希望を語り
怠けている人は不満を語る。「先生のコトバ集」より